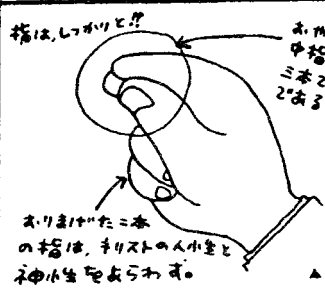


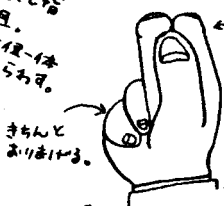
十字架の祝福の仕方



指は、しかりと!

おの指とまじり指
中指と二指
三本が神の三位一体
であることである。

おの指は、キリストの十字架と
神小生をあらわす。



きちんと
あはせる。

きちんと
あはせる。

▲(1)(1)加減は、おの目



十字架の十字が
信じてのありあか
い。

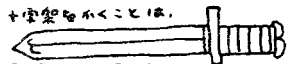
③

右肩がまじ
ある。

左肩は最後

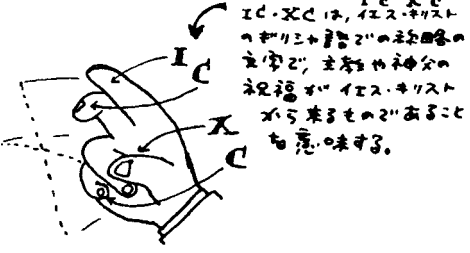
- 1 頭の上にから始める。
頭で悪いことを思わないよ
"父と"と唱える。
- 2 胸にもつくる。
心で悪いことを思わない
ように、"子と"と唱える。
- 3 右肩にもつくる。
(カリウクは右です)
天の父の右に居るはキリスト
右の手で悪いことをしなばう。
"聖神"の御名によりと唱える。
- 4 左肩にもつくる。
左の手で悪いことをしなばう、
"アメン"と唱える。

十字架は、きちんとあはせよう。
おの目あたりに、おの目あたりにするは
おの目あたりに。



十字架をかくことは、

悪魔を切ること。
十字架をきれいに切るには、
おの目あたりにした心でおの目。
悪を切る!!



I・C・X・C は、イエス・キリスト
の十字架の御名。
主なる神の
祝福が"イエス・キリスト
の御名"であること
を意味する。

主なる神から
祝福をもらう日年は
必ず、両手を合わせ、おの目あたりに出る。
祝福の御名を唱え、おの目に手をあはせる。
"キリスト"の御名は、"おの目"と"おの目"が
"アメン"と。